



全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会及び施設大会 報告

平成29年6月8日、9日の二日間、茨城県水戸市において、全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会及び施設大会が開催されました。

第1日目の総会では、2016年度の事業報告・決算報告、2017年度の事業計画・予算について、議案として審議、それぞれの議案が承認されました。

現在、情報提供施設は全国に52施設あり、会員施設が増えたことにおける、ブロックとしての活動の在り方等の検討がされ、現行の5ブロック体制から6ブロック体制に再編することが承認され、東海・近畿ブロックは第4ブロックとなり、それに伴い、役員選出では、慣例上、1名が理事に加わり、また、さまざまな課題に取り組むにあたり、今後重要な時期となってくるということで、専門委員会の委員長が2名加わり、理事が6名体制から9名体制となりました。

施設大会では、「電話リレーサービス、遠隔手話サービスと聴覚障害者情報提供施設」というテーマでシンポジウムが行われ、電話リレーサービスや遠隔手話サービスについての現状が議論されました。

情報支援の在り方の多様化や双方のサービスの違いなど、課題等を含めて、しっかりと検証をしていくことが大切であり、便利さを追求していくことは大切であるが、実施体制を整えていかなければ、逆に質の低下になるのではないかという意見もありました。

実際に電話リレーサービスを使った方々の感想が紹介されました。



- 自立できるんだ、もう心配しなくていいと思った。
- 健聴者の電話の仕方（利用）処理の速さがわかりました。
- サービスが拡充していけば、ろう者も健聴者と同じフィールドで活動ができると思う。
- 対応がすぐにわかるので、とても便利。

電話リレーサービスは、生活に役立つということが大前提であり、仕組みの実証も踏まえて様々な視点から考えていく必要があると思いました。

第2日目は、ブロックごとに分かれての会議が開催され、(岐阜は第4ブロックに所属)議題に基づいて意見交換を行いました。

新ブロック長の選出、今年度の研修会の計画等、共にレベルアップや研鑽（けんさん）を図っていくという声を反映し、開催日（予定）の調整を行いました。

今後、情報提供施設の果たす役割が、ますます多様化していく中で、全国の施設が一堂に会す場はとても重要であり、とても有意義な総会・施設大会でした。

来年の総会と施設大会は、福島県で開催されます。

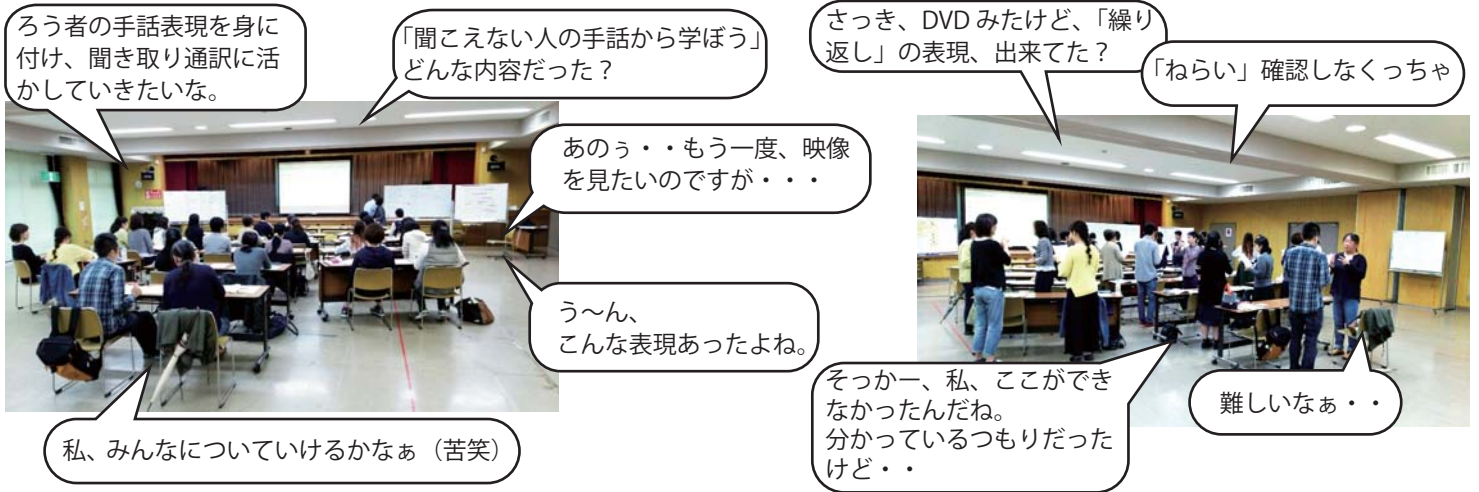
平成 29 年度 岐阜県手話通訳者養成講座開講中！

4月から、多治見市総合福祉センターにおいて、通訳者養成講座がスタートいたしました。（2年間の実施予定）

今年度は「手話通訳Ⅰ」を実施、来年度は「手話通訳Ⅱと手話通訳Ⅲ」を行います。

いろんな地域の方々が集まっています。最初は、「初めまして」・「ちょっと緊張の中にも、「よし！頑張ろう～」という空気の中、徐々に講座の雰囲気にも慣れ、お互いに切磋琢磨しています。

〈ある日の講座の様子〉



平成 29 年度 岐阜県要約筆記者養成講座中間報告

今年度の受講生は手書きが13名、パソコンが7名と例年に比べて多く、担当者の予想が裏切られ嬉しい悲鳴をあげています。映画「聲の形」に関わりのある大垣市で開催したことも要因の一つかと思いましたが、そうではなく、皆さんが聴覚障害や要約筆記に関心を持っていただいていたことを嬉しく思います。

実技の様子からは、皆さんがロールに書くことやタッチタイピングに慣れるように自宅で練習されていることがうかがえます。また、講義等でも積極的に質問される姿からも熱意が伝わってきます。

受講生のみなさんの思いをご紹介します。

《受講のきっかけ》

- ・手話を学んでいて、要約筆記ともつながりが深いと思った。
- ・自分のスキルアップのために何かないかと探している時に講座の案内を目にした。
- ・「どんぐりの家」（コミック本）を読んで聴覚障害者や重複障害者についてボランティア活動ができないかと思っていた時に講座の募集を見て一層興味を持った。
- ・仕事の関係で手話通訳や要約筆記を知り興味を持ち、今後需要が増える分野でもあり、受講してみたいと思った。
- ・避難所での生活困難に少しでもお手伝いしたいと思った。
- ・少しでも社会の役に立てることがないかと思っていたところ講座の案内を目にした。
- ・仕事で聴覚障害者に接する機会が多いので、仕事に役立てたいと思った。

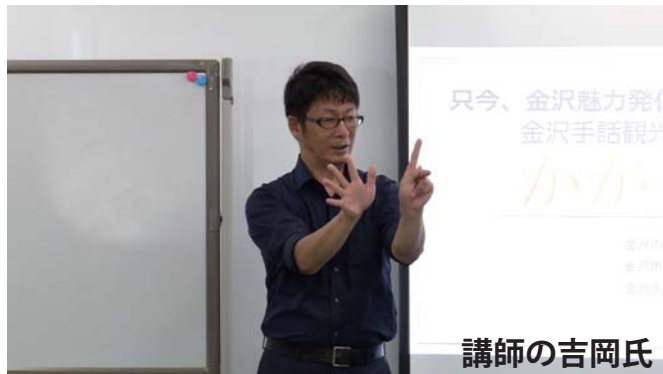
《今の思い》

- ・知らないことを学ぶのはとても新鮮でおもしろい。
- ・勉強すればするほど難しいと実感している。大変だけど最後まで頑張って続けたい。
- ・講座や本で聴覚障害者のつらい体験等を知り、その方たちの社会参加のサポートができたらと思っている。
- ・聴覚障害者の長い運動の歴史を知り、もっと関心を持つ人が増えるとよいと思う。
- ・法や制度の背景や歴史など内容が奥深く、聴覚障害に対する理解が深まった。
- ・豊かな人になるために学んでいるのだと感じている。
- ・社会福祉全体をみて考えていく大切さを学んだ。
- ・情報保障の責任の重大さに気づき、安易な気持ちで取り組んではいけないと思う。



後半はさらに実践に向けての講義、実習となります。熱い思いを持ち続け、暑い暑い夏を乗り越えながら頑張っていきましょう。

聴覚障害者セミナーが開催されました



講師の吉岡氏

平成 29 年 8 月 12 日（土）、岐阜県聴覚障害者情報センターのボランティア室で社会福祉法人石川県聴覚障害者協会理事 吉岡真人（まこと）氏を迎えて、『かがやきがある金沢の魅力』と題し講演していただきました。

最近、観光地での手話ガイドが全国的に普及し始めていることをご存知でしょうか？

インターネットで少し調べてみると、①鳥取県（動画）②三重県伊勢市③京都市④長野県上田市⑤愛知県犬山市⑥山梨県（ふじさんミュージアム）⑦群馬県（富岡製糸場）⑧和歌山県（熊野古道探訪プロジェクト）⑨岡山県（後楽園）⑩広島県（広島平和記念資料館）などがあります。（利用する際には事前問合せ・予約等が必要です）

金沢市にある「金沢手話観光案内かがやき R」は、全国の自治体として、一番最初に発足した手話観光ガイドです。

講演の内容は、北陸新幹線の PR キャラクター「ひやくまんさん」の説明から始まり、金沢手話観光案内かがやき R が設立に至ったきっかけ、金沢の魅力などをたっぷりとお話しいただき、参加者は熱心に話を聞いていました。笑いもあり、質疑応答がいつも以上に多く、大変盛り上がったセミナーとなりました。

講師の吉岡氏からは、『参加者の皆さんの笑顔があつて良かったです』のコメントを頂きました。

皆さんも、金沢市に旅行に行かれた際には、ぜひ「かがやき R」の観光ガイドを利用されてみてはいかがでしょうか？

今回、セミナーの様子をビデオ撮影させていただきましたので、DVD として貸出を予定しております。完成まで今しばらくお待ち下さい。

あの感動をご自宅やスマホで!!

2017 年 7 月 18 日～ 30 日、トルコのサムスンで第 23 回夏期デフリンピックが開催されたことは、まだ記憶に新しいと思います。

今大会の日本勢は歴代最高のメダル獲得数 27 個（金 6、銀 9、銅 12）を達成したこともあり、大いに盛り上がりました。



中でもビッグニュースとなったのは、女子バレーボールチームの金メダル獲得です。決勝戦まで全てセットカウント 3-0 のストレートで勝ち上がり、さらにイタリアとの決勝戦でもセットカウント 3-0 のストレートで勝ち、見事、金メダルを獲ったのです。

その様子は、インターネットで生配信されていたので、自宅やスマートフォンなどで視聴された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

生配信された動画は、今でも視聴する事ができますので、見逃した方は改めて感動と興奮を味わってみて下さいね。

過去にデフリンピックは知名度が低いと言われていましたが、今大会ではデフリンピック支援ワーキングチームも発足し、党派を超えた議員の活躍や、メディア（テレビや新聞）などで取り上げられることも多く、知名度はかなり向上したのではないかと思います。

QR コードと、URL は対イタリアとの決勝戦の動画を視聴する事が出来ます。



<https://goo.gl/F19SVU>

講座開催中

やってみよう文章教室!! 平成 29 年 7 月 19 日

聴覚障害者にとって、苦手意識にのりある文章。

今回は例文をいくつか提示してもらって、文章の意味の違いをろう講師が説明してくれました。

資料を見せてもらったのですが、健聴者の場合、周りが話している事を自然に耳から聞き入れて使っているのに、改めて文章の意味の違いを説明しようと思うと難しい事がわかりました。

次回の開催要望も出ていますので、検討したいと思う講座となりました。

当日の様子を撮影させていただきましたので、今後 DVD 化する予定をしております。



親子工作教室（知育パズルを作ろう） 平成 29 年 8 月 19 日

夏休み恒例の親子教室。

今回は知育パズルを作成してみました。材料は 100 円ショップで買えるカラーボード。

これを使った知育パズルを皆さんに作ってもらい、出来た作品を使ってパズルの問題集にも挑戦していただきました。

若い人は、想像力も発想力も柔軟なので、比較的短時間で問題集をクリアする事が出来るみたいですね。

簡単なようで意外と難しい…。でもコツをつかむととても楽しいパズルゲームです。

情報センターに見本がありますので、来所された時に挑戦してみませんか？

お知らせ

今年もやります! 聴覚障害者情報センター ふれあい Week

平成 29 年 11 月 8 日（水）～ 13 日（月）の期間、聴覚障害者情報センターふれあい Week と題し、県民の皆さまに情報センターを知っていただく企画を開催いたします。

例年通り福祉機器展示（振動式目覚まし時計などなど）を始め、各種展示や講座などの内容を、現在検討しております。詳細については、10 月頃に案内チラシを配布する予定をしておりますので、ご期待下さい。

今年は情報センター開設 10 周年ということもあり、何かサプライズ!? があるかも…。



LINE



facebook



ブログ

左の QR コードを利用すると、情報センターのブログ、LINE、Facebook に簡単にアクセスできます。ぜひご利用下さい。

